

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】



2024-No.10
2024年10月4日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061東京都千代田区神田三崎町2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

23日から戦争想定した日米統合演習=キーンソード25

23都道府県で民間の空港・港湾・道路も使用

防衛省は、9月26日、陸海空自衛隊および米軍が参加する、「令和6年度日米共同統合演習（実動演習）・キーンソード25」を10月23日から11月1日に行なうことを公表しました。キーンソードは指揮所演習の「キーンエッジ」と交互にほぼ1年おきに行なわれています。

この演習は全国23都道府県・46か所の米軍基地や自衛隊基地とともに、「交戦状態」となることを想定し、民間空港や港湾、道路なども使用するとされています。自衛隊からは陸海空の基幹部隊を軸に、約33,000人、艦艇約30隻、航空機約250機が参加します。米軍からはインド太平洋軍等から12,000人、艦艇約10隻、航空機約120機が参加します。

今回の演習は、自衛隊がこの間とりくんでいる7か月間に及ぶ「インド太平洋派遣」や、この間切れ目なく実施されてきた多国間演習（ヴァリアント・シールド、オリエント・シールド、リムパックなど）と連動したものと考えられます。

この演習は、在日米軍と自衛隊の装備をフル動員し、「台湾有事」を想定して九州・沖縄を重点にするとともに、全国の主要基地をすべて使うことなどが特徴です。当然、日米の統合司令部構想が背景にあります。訓練の実情は、12月に予定される「ヤマサクラ」に反映されるものと考えられます。

各団体のみなさまに10月2日に「キーンソード25」の資料をメールにて送付しました。



中止申し入れ、総選挙で審判を

今回の演習は、「安保3文書」にもとづく「戦争国家づくり」を反映した重大なものであり、総選挙中に行われることも許されません。各地域での中止要請や民間施設の使用中止を求めるとりくみ、「戦争国家づくり」をすすめる石破政権に審判を下しましょう。。

近畿6府県の安保破棄実行委員会はキーンソードの中止を求める自衛隊中部方面隊への申し入れを準備しています。沖縄県の玉城デニー知事は9月27日の記者会見で、民間空港の使用やオスプレイ使用についての自粛を沖縄防衛局に要請したと表明しました。